

お元気でいらっしゃいますか？

我が家の裏庭では、リスが木々の上を下をと、元気良く走り回る光景が見られるようになりました。表玄関の庭には、野ウサギが駆け回り、時には道路まで出て来ては、人の気配にあわてて奥の庭に引っ込みます。これは我が家のみならず、北ヨーロッパ特有の春の光景です。

---

## ●モニカ・ハートヴィッヒ

今日は少し長くなりますが、先週テレビで見たモニカのことを書かせてください。

「シンドラーのリスト」という映画をご覧になったことがあるでしょうか。ポーランドのクラクフ近くにあるプワシュフ収容所で苦しめられているユダヤ人を救おうと、ゲッターに掛け合い、多額の代金を支払ってユダヤ人を買取り、自分の工場のあるチェコスロバキアのプリンリッツへ連れてゆく、ナチス党員だったオスカー・シンドラーのストーリーです。シンドラーが彼の右腕のシュテルンと共に、救えるユダヤ人の名前を書いたリスト、そこに記された1200名のユダヤ人が救われました。残虐な収容所所長、アモン・ゲート。彼は、自分の部屋の窓から、まるでゲームを楽しむかのように、気分をまかせて収容所のユダヤ人を銃殺するのです……。

実は、このアモン・ゲートの娘、モニカ・ハートヴィッヒと、プワシュフ収容所の生き残りである、当時14才だったヤン・ロツァンスキー、そして、この収容所からの生還者を母に持つツィッポラ・キッヒラーが、先週、テレビのトークショーに出演したのです。司会は、牧師であり、カウンセラー、童謡作家としても活躍している、ユルゲン・フリーゲ。（彼のトークショー、“Fliege”は、月～木、ARD午後4時から放映されています。）ユルゲンの深い洞察力と思いやりのある司会の中で、トークショーは進められてゆきました。

ヤンの収容所の記憶は、映画のそれよりも、もっと壮絶なものでした。アモンは、小さい子供におもちゃを見せ、それを見て近寄ってきた子供が彼の手にあるおもちゃに手をかけたとたんに、銃で撃ち殺してしまったと言います。それを目の前で見たヤンは、その光景が今でも脳裏にこびりついていると言います。

ツィッポラの母親は、この世を去る日まで、収容所で友人たちをアモンがブーツで蹴り、こぶしで殴り殺した時の悪夢にうなされていた、と言います。

その話を聞きながら、アモン・ゲートの娘、モニカは涙を流しながら何度も「ごめんなさい、ごめんなさい、」と言うのです。私は、まず、その光景に驚いたのです。悪魔の代名詞のように語られているアモン・ゲートの娘の何と砕かれた姿。それにしても、彼女はアモンの娘として、どのような思いで生きてきたのだろうか……。

モニカは、自分の父親について、木にかけられて殺された、としか知らされていませんでした。それ以外は、誰も、父親のことを教えてくれませんでした。そのため、彼女は図書館や、市役所で自分の父のことについて調べ始めます。けれども当時、アモン・ゲートについても、プワシュフ収容所での殺害のこと

も、まだ語られていなかった時でした。彼女は父のことを知る手がかりが何もない状態の中、鬱病になります。

しかし、1982年、キリーニーが史実をもとに書いた小説「シンドラーのリスト」が出現、そこで初めて、モニカは自分の父がしたことを知るのです。それまで何も語らなかった母親は、初めて口を開きました。けれども、それはモニカに向けられたものではなく、BBCのインタビューに向けられたものだったのです。モニカの母親は、自分の夫が取る行動に気が狂うほどで、耐えられなかった、それでも彼女はアモンを夫として愛していた、と告白したのです。そのインタビューの直後、モニカの母は自殺したのです。

モニカは、母の自殺を乗り越え、事実と自分の思いに取り組み始めます。その背後には、多分、多くの人々の助けがあったに違いありません。彼女は、はっきりと「自分の父親は、聖書で語っているサタンの化身でした。」と告白し、「父は処刑されて当然でした。」と父を裁き、けれども、「それでも、私は彼を父親として愛してはいけなかったのでしょうか。」と涙するのです。その時、ヤンとツィッポラが席から立ち上がり、「モニカ、モニカ、あなたには何の罪もないのですよ、何の罪もないのですよ。」と言って、彼女を抱きしめる光景に胸を打たれました。

モニカは今、孫に割礼を施し、二人でシナゴークに通っています。どうして、という問いに、「アモンの娘として、父によって苦しめられた人々への思いを、形として現すために。孫にも父のすべてを知らせてあります。」ときっぱりと答えた彼女の、美しい58才の顔には、よく見ると老女のような細かいたくさんしわが刻み込まれていました。

番組の最後に、以下のみことばを思いました。

「あなたを苦しめた者たちの子らは、身をかがめてあなたのところに来る。」（イザヤ 60:14）

---

## お祈りください

4月26日からアメリカ賛美コンサートツアーが始まります。予定は以下の通りですので、現地にお知り合いの方がいらっしゃいましたら是非お知らせしてください。ひとつひとつのコンサートを主が祝福し、人々を救いに導いてくださいますように。

4月26日（月）ハンブルク→ロスアンゼルス

5月 2日（日）ロスアンゼルス、ゴスペル・ベンチャー・インターナショナル教会コンサート

14:30 開演 連絡先：安藤英世師 310-517-9058 Fax 310-539-9058 5月 8日（土）ロスアンゼルス、青木家ホームコンサート 14:00

連絡先：青木千鶴さん 949-646-3942 5月 9日（日）ロスアンゼルス、ウエストロサンゼルスホーリネス教会チャペルコンサート

14:30~16:00 連絡先：鈴木幹彦さん info@mmpmoo.com,

教会 Tel. Fax 310-473-2130

5月13日（木）サンフランシスコ、ひなの会第四回定期集会、会場：渡辺奈々さん宅 10:00-14:00 連絡先：渡辺奈々さん 650-726-0660 Fax 650-592-6085

5月14日（金）サンタクララ、JCTV「見えますか愛」&Santa Clara Valley Japanese Christian Church・コンサート 19:00~21:00 代表連絡先：榊原宣行師 650-703-2990 Fax 650-365-7935

5月16日（日）Calvary Baptist Church 賛美礼拝  
9:00 から 11:00 連絡先：Pastor Keith Kettenring 714-630-0733

●6月11日（金）、ウェスレアン・ホーリネス淀橋教会（東京）にて、財団法人東南アジア文化友好協会主催の創立40周年記念チャリティコンサートをいたします。東南アジア文化友好協会の働きについては、次回のメルマガに書かせていただこうと思っておりますが、チラシは[こちら](#)ですので、お知り合い、教会の皆さんに宣伝して下さるようお願いいたします。

収益金は、東南アジア留学生福祉に役立たせていただきます。お問い合わせ：財団法人東南アジア文化友好協会 03-3296-0192

---

どうぞ主の平安と喜びに満ちた日々をお過ごしください！  
皆様の祝福を祈りつつ

工藤篤子